

# 広報 なかさと

毎月10日発行  
7/10  
1988

《No.360》

新たなスタート  
2000日をめざして



中里村交通死亡事故ゼロ1000日達成記念

- おもな内容**
- 2~3ページ 交通死亡事故ゼロ1000日達成
  - 4~5ページ 田沢小学校新築
  - 6ページ 新庄市との交流
  - 7ページ あなたのからだ大丈夫ですか
  - 8~9ページ お知らせ
  - 10~11ページ みんなのひろば
  - 12ページ 行事予定表

私たちの村の  
内政前月比

□人口 男 3,457 (-1)  
女 3,454 (+3)  
計 6,921 (+2)

□世帯数 1,631 (-1)

## 行事予定表

7月11日~8月10日

11(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 榎津 敬
12(土)	「湯沢防犯工事事務所の明日を考える」懇談会(13:30~ 湯沢町 東映ホテル) 「信濃川と妙見堀」NST(15:00~15:55)
13(日)	休日救急医(津南病院 ☎65-3161) 自然観察会(植物観察 小松原 出発 総合センター8:30)
14(月)	移動図書館(芋川、倉俣、原町、新里 12:00~13:20)
16(水)	運転者講習会(倉俣地区、倉俣改善センター 19:30~21:30)
18(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 桑原国弘 移動図書館(重地、清田山、下山、田代 12:00~13:25)
20(日)	休日救急医(山口医院 ☎55-2003)
21(月)	運転者講習会(貝野地区 貝野多目的研修センター 19:30~21:30)
22(火)	献血(右参照)
24(木)	運転者講習会(清津峡地区 高道山小体育館 19:30~21:30)
25(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 樋口永蔵 妊婦検診、母親学級(右参照)
26(土)	♀~♀「日展、新潟展」新潟県美術館 清津峡まつり(前夜祭)
27(日)	休日救急医(千手診療所 ☎68-2034) 村民体育祭(中里中学校 9:00~) 清津峡まつり(民謡大会 清津峡小体育館 12:30~)
28(月)	移動図書館(芋川、倉俣、原町、新里 12:00~13:20) 運転者講習会(田沢地区 総合センター 19:30~21:30)
1(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 桑原国弘
3(日)	休日救急医(上村病院 ☎63-2111)
4(月)	交通事故移動相談所(十日町市役所 10:00~15:00)
5(火)	村民健康検診(右参照)
8(金)	心配ごと相談日(老人福祉センター 13:00~16:00) 相談員 藤田義一
10(日)	休日救急医(津南病院 ☎65-3161)

\*変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

昭和三十年ころ、桔梗原の田開稲荷神社に大シノ縄を奉納したときの写真です。このころ田開稲荷は八カ村が持ち回りで祭りの仕度をしました。家の親父は、世話好きでしたので、通り山が当番の年、近所の若い衆を集めて長さ四ひ余りの大きなシノ縄を稲荷神社に奉納しました。昔は春と夏に祭りが行われ、参拝者相手のザル売りやとうふ汁の店も出たほどでした。このころ神社の「守り」といって、神社に一晚泊まる習慣もありました。



通り山上原 甚作さん

心の世のうた

みなさん  
お忘れなく



- 妊婦検診  
7月25日/13:30~14:00/上村病院
- 母親学級  
7月25日/8:30~9:00/保健センター/家族計画、調理実習
- 献血  
7月22日/10:00~15:00/保健センター前
- 村民健康検診  
8月5日/9:00~10:30/如来寺、角間、薄沢、土倉、倉下、小出  
13:00~14:30/芋沢、高道山、朴木沢、市之越、朴木沢新田、たか羽、白羽毛、程島  
8月6日/9:00~10:30/小原、東田沢、豊里、新屋敷、本屋敷、堀之内  
13:00~14:30/上山、官中、干溝、通り山  
8月7日/9:00~10:30/田中、田代、下山、重地  
13:00~14:30/桔梗原、芋川、芋川新田、倉俣、清田山  
8月8日/9:00~10:30/新里、原町、田沢、山崎  
13:00~14:30/桂、荒屋、西方、西田尻、東田尻
- 子宮ガン検診  
7月15、17、18、21、22、24、28、29、31日

### 編集後記

七月五日、交通死亡事故ゼロ1000日達成記念パレードの模様です。県警カローカーズ、音楽隊、田沢小の鼓笛隊など約二百五十人が参加し盛大なパレードが行われました。

### 今月の表紙



# 事故防止はみんな



パレードに田沢小鼓笛隊も参加

## 交通死亡事故ゼロ

## の心がけ 1000日達成



中里中吹奏楽部と音楽隊の合同演奏

### 活躍する交通指導隊



**村山 基さん**(山崎)  
7月5日から原付バイクのヘルメット着用が義務化されました。ちょっとした事故でも頭をやられてはおしまいです。ヘルメットで自分の命を守りましょう。



**林 正一さん**(山崎)  
これからの暑い季節、仕事を終えた後の生ビールは格別です。「ちょっとくらい」という甘い考えが不幸を招くもどです。飲酒運転は絶対にやめましょう。



**上原 正夫さん**(上山)  
みなさん踏切りや一時停止の標識のある交差点で確実に停って安全を確かめていますか。出会い頭の事故がとて多いためから十分注意しましょう。



**井之川 求さん**(上山)  
事故にあって、フロントガラスに頭を強打してから、「シートベルトさえしていれば」と後悔をしても始まりません。シートベルトの着用を習慣にしましょう。



**吉楽 靖彦さん**(山崎)  
「俺のハンドルさばき見せたいわ」どんなテクニックをもっていても、猛スピードではとても事故を避けることができません。スピードは特に控え目に。

### 交通安全宣言

今、この時間にも全国どこかで、悲しい交通事故が発生しています。幸せな家庭を不幸のどん底につき落す交通事故を無くす為に、私たちは、三者の立場で宣言いたします。

**歩行者として**  
私たちは、横断歩道を利用した道路横断と道路の右端歩道を常に心がけ、悲惨な交通事故から身を守ることを誓います。

**ドライバーとして**  
私たちは、車のハンドルを握つた私達は、家族を思い出しスピード違反、常に家族を思い出しスピード違反、一時不停止、飲酒運転の交通三悪を犯さないことを誓います。

**主婦として**  
私たちは、家庭を守る主婦として、車であられた人に対しては、絶対に悪意を出さないことを誓います。

上記宣言します。昭和61年7月5日  
中里村交通死亡事故ゼロ1000日達成記念大会

**活躍する  
指導隊、安協役員**  
村は、交通事故を減らすために、中里村交通安全対策協議会と中里村交通安全指導員を組織しています。また、民間団体として中里村交通安全協会があり、三者が一体となって事故防止運動を展開しています。

実際の活動としては、各運動期間中の街頭指導、交通安全教室、巡回広報など

**事故防止は交通ルールを守ること**  
事故の防止には決め手がありません。事故を減らすためには、歩行者、ドライバーが交通ルールを遵守する以外にありません。

このように多くの人たちの苦勞が、死亡事故ゼロ1000日達成に大きな役割を果たしてくれたものと感謝をしています。

あいさつに立った上村村長は「交通戦争といわれている現在、約三年間にわたり死亡事故が発生しなかったことは、非常な喜びとするところでは、今後も、交通安全関係者と連携を深めて事故防止に努力いたします」とあいさつしました。

午後一時半から行われたパレードは、県警ヘリコプラーが空から、音楽隊、カラーカーズ、田沢小鼓笛隊が役場から国道三五三三号線接点までをパレードしました。その後、県警パトカー交通指導車が村内を巡回広報をしました。

昭和四十三年以降の村内の交通事故発生状況を見ますと、件数、負傷者とも昭和四十九年が一番多くなっています。この年は、発生件数十八件、負傷者二十二二人、死者二人となっています。昭和五十五年で、四人が交通事故で亡くなっています。

村では、交通安全の意識を高め、更には交通安全の意識を高めていただくため、記念大会と記念パレードを七月五日に実施いたしました。

その後、交通安全宣言として、歩行者の立場から、右端一列歩行、ドライバーの立場から交通三悪の一端、主婦の立場から、飲酒運転の追放を宣言いたしました。

昭和四十九年の全国統計によれば、六十一秒に一件の事故が発生し、五十六分五十四秒に一人が交通事故で亡くなっています。村内での交通事故は、年によって変動が大きくなっています。事故が毎年平均十四件近い交通事故が発生しています。

記念大会は、中里中学校体育館を会場に行われ、村内小中学生をはじめ、交通安全関係者、各種団体、一般参加者など千人を越す人たちが参加しました。

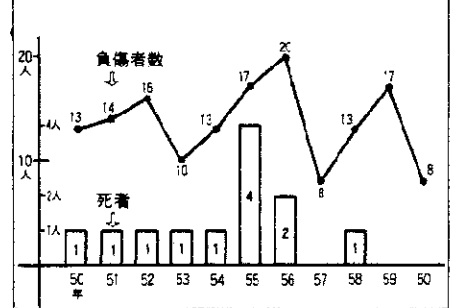
中里村、中里村交通安全協会、中里村交通安全指導隊が表彰されました。

昭和四十九年の全国統計によれば、六十一秒に一件の事故が発生し、五十六分五十四秒に一人が交通事故で亡くなっています。村内での交通事故は、年によって変動が大きくなっています。事故が毎年平均十四件近い交通事故が発生しています。

### 盛り上がった記念事業

交通死亡事故ゼロ1000日達成記念大会が、七月五日、中里中学校体育館で開かれました。これは、昭和五十八年十月に発生した不幸な事故以来1000日間死亡事故が起きていないことを記念して行われました。これを契機に、更に交通安全に対する意識を高めます。

交通事故による負傷者及び死者数 (中里村)

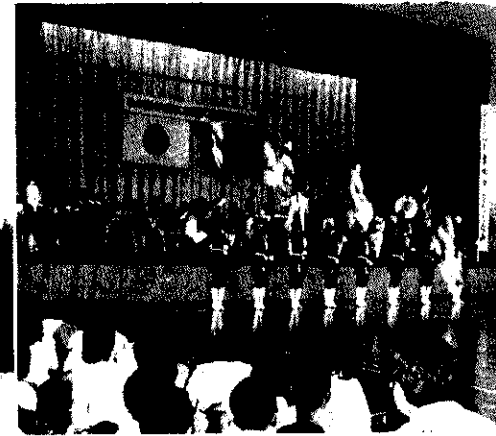


### 事故件数減らず

昭和四十九年の全国統計によれば、六十一秒に一件の事故が発生し、五十六分五十四秒に一人が交通事故で亡くなっています。村内での交通事故は、年によって変動が大きくなっています。事故が毎年平均十四件近い交通事故が発生しています。



大会に花を添えたこしかぜ号



すばらしいカラーカーズの演技



1000人を越す人たちが盛り上がった記念大会



中里村交通安全協会長  
杉谷 清六さん

交通死亡事故ゼロ1000日達成本大会におめでとうございます。毎日報道される痛ましい交通事故。毎年、九千人以上の人たちの尊い生命が交通事故で亡くなっています。この数は中里村の人口の二三倍にもなっています。こうした中で、中里村が約三年間にわたって死亡事故が無かったことは、とても意義のあることです。わたしたち交通安全対策にかかわる者にとって、とても幸なことです。しかし、事故件数は、横ばい状態ですので、今後とも交通安全対策に万全を尽くさなければと心を新たにしています。

社会一般的に交通違反に対する罪の意識が低いのが実情です。飲酒運転やスピード違反で検挙されても「交通事故にあつたようなもの」と軽く受けとめられています。

ドライバーは、ハンドルを握つたら家族の顔を思い出し、スピード、飲酒運転にブレーキをかけてほしいと願っています。

# ワ—イ新しくなるんだ



5年 樋口一美さん

## 早くできないかな、新校舎

わたしは、今から、「早く新しい学校ができないかな」と、思っています。今5年生だから、はいれるかどうか、まだよく分かりませんが自分では、「はいれる。はいれる」と、思っています。

新校舎は、もう少し教室を広く作ってほしいと思います。体育館も広くしてほしいです。

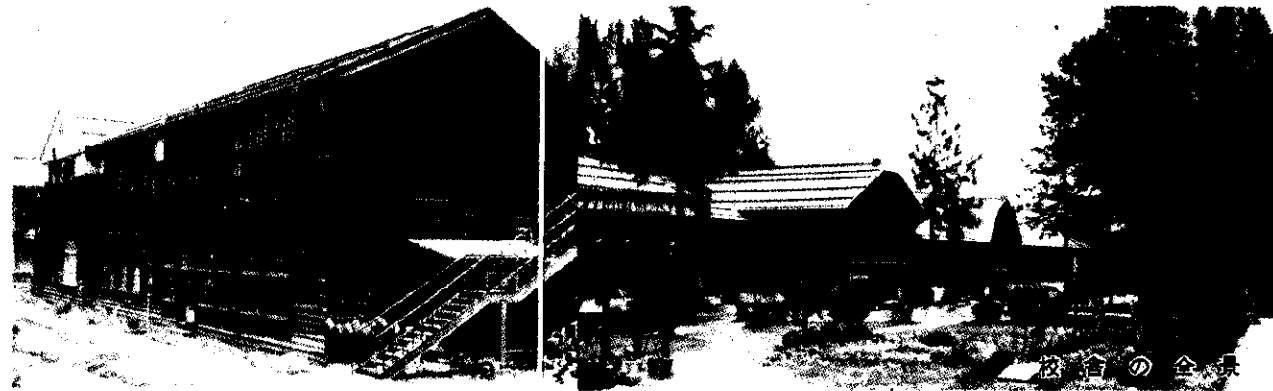


4年 樋口弘述君

## 旧田沢小学校の思い出

ぼくは、4年と2ヶ月ちょっとの間、旧田沢小学校で勉強をしました。入学式の時は、古いなと思いました。雨がふると、雨もりがしたり、ふし穴もたくさんある。でもその学校をこわしくなってきました。おもしろかった事や、悲しかった事など、思い出がいっぱいある。

旧田沢小学校さようなら。 終わり



旧校舎の全景

体育館は、郡内の小中学校では、はじめての陸屋根形式となります。これは、雪処理を考慮して採用されたものです。一階部分は、ピロチー(高床式)となり、冬囲いの道具や体育用具などが格納できるようにします。これによってアリーナー(床)が二階部分となり、冬期間でも陽当りが抜群になります。ま

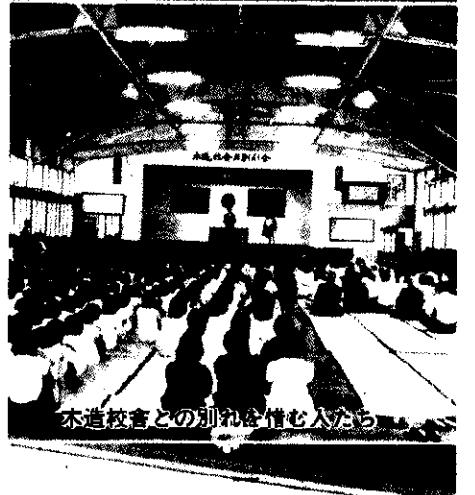
昭和七年に建築した中央校舎、体育館(便所を除く)北校舎は、当時としては、郡内でもモダンな建物として注目を集めました。その後、管理棟、給食棟、南校舎が建築されました。昭和七年に建築された校舎棟等は、老朽化が激しく、昭和四十七年から耐力度調査で危険建物の認定を受けていました。

村では、待望の田沢小学校の全面改築に着手しました。計画では、従来の建物を全て取り壊わし、国道と平行に北側に体育館、南側に校舎棟を建築します。この工事は、二年間の継続事業で実施され、昭和六十二年十月に完成する予定です。

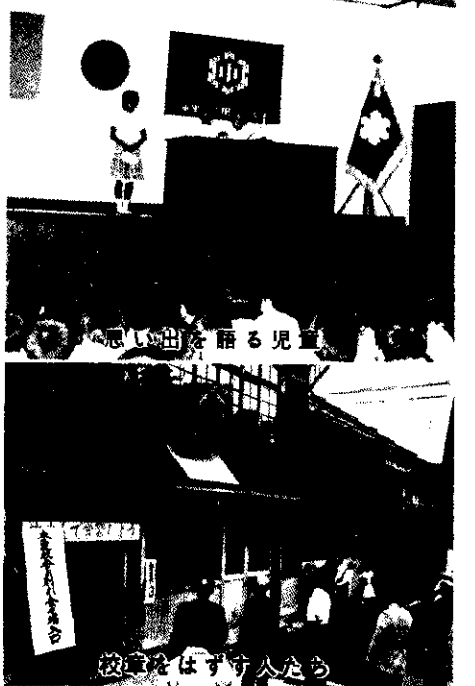
# 思い出の学舎 新しく建築へ



卒業写真に見ている卒業生



木造校舎との別れを惜む人々



思い出を語る児

校舎をばす人々

た、ピロチーの校舎側に給食調理室が設けられます。体育館は、学校開放用として利用するため、玄関口が設けられ、北側に駐車場が整備される予定です。

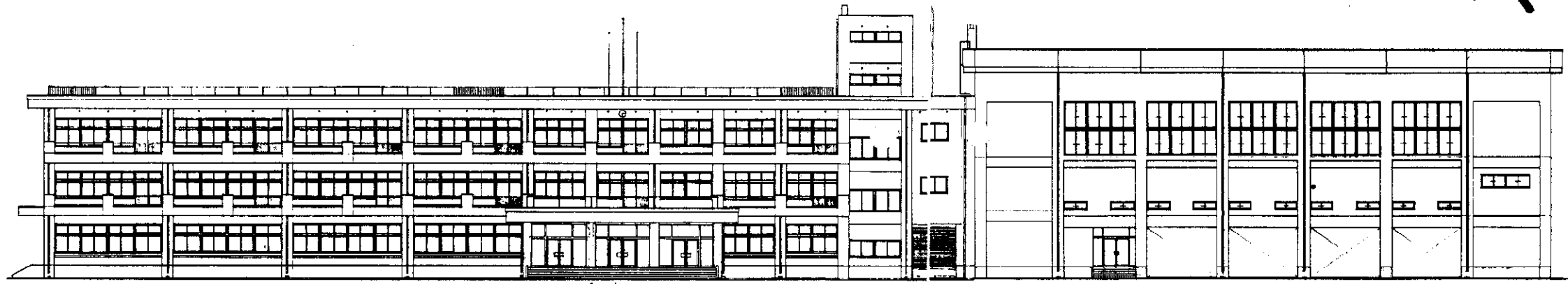
## 総工費六億五千八百万円

六月二十四日に、建築工事の入札が行われ、前田建設工業株式会社北陸支店が六億五千八百万円で落札し、六月二十六日村議会で工事請負契約が議決されました。今年度は、校舎棟の四〇%、来年度、校舎棟の六〇%、給食棟、体育館が建築されます。

## 思い出深い校舎にお別れ

六月二十九日、木造校舎お別れ会が、思い出深い体育館で行われました。

児童を代表して三人が、二階でバケツの水をこぼし天井につたわったことや釘で足をケガしたことなどの思い出を語り、「こわすのはちよびりかわいそう」と慣れ親しんだ木造校舎に別れを告げました。また卒業生三人からも校舎に対する惜別の言葉がありました。惜別の会では、互いに杯を傾けながら思い出を語り合っていました。



校舎棟

↑玄関

体育館



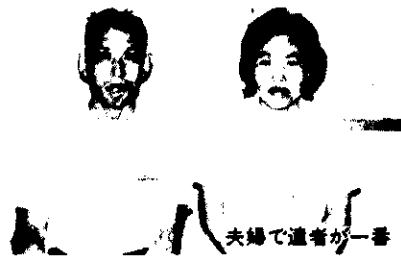
死力を尽して走る選手たち... 一気にハ—ドルをとり越える

- ◎都市球技大会
- ★成績
- 〈男子〉(順位)
- 一〇〇M ③ 村山 寿正
  - 二〇〇M ③ 村山 寿正
  - 四〇〇M ② 井之川高志
  - 三〇〇M ④ 山田 勝之
  - 一一〇MH ① 村山 紀之
  - 走幅跳 ④ 樋口 正和
  - 走高跳 ④ 服部 和也
  - ⑤ 広田 隆司
  - 砲丸投 ⑤ 小林 誠
  - 三種A ④ 藤ノ木 保
  - 三種B ④ 服部 和也
  - J一〇〇M ⑤ 井之川勝弘
  - J五〇〇M ② 高井 貴浩
  - ③ 服部 公彦
- 〈女子〉
- 一〇〇M ④ 山本 陽子
  - ⑤ 服部 敏子
  - 二〇〇M ③ 山本 陽子
  - 八〇〇M ③ 樋口あけみ
  - 一〇〇MH ② 高井 芳美
  - ④ 上原五津子
  - 砲丸投 ④ 広田 朋子
  - 三種A ④ 高井 芳美
  - J一〇〇M ⑥ 山田 宣子
  - J八〇〇M ③ 島田 理恵
- 一位 バレーボール(女子)
- 三位 男子バスケットボール
- 三位 女子バスケットボール

# 大健闘中里中

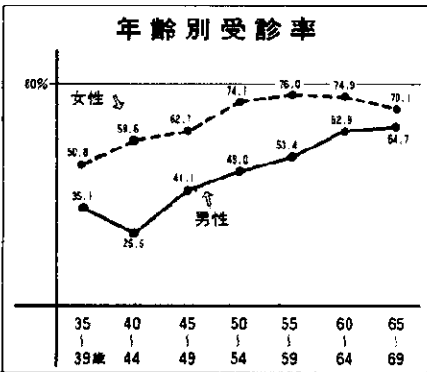
## 都市陸上大会

六月十八日、十日町市、中魚沼郡中学校陸上競技選手権大会が、中里中学校で行われました。中里中学校は、六位までの入賞者が、二十七人と大健闘をしました。



夫婦で通者が一番 平川 万部 さん(桂)

体格もよく丈夫そうな知人が40歳代で亡くなったんですよ。当時はショックでした。せめて自分の子が成人になるまでは健康で働かなければなりませんからね。若いころは健康に関心をもっていなかったのですが、40歳のとき一日人間ドックに行ったのを機会に毎年夫婦で受診しています。会社勤めの人は、毎年定期検診を必ず受けています。健康は一生の宝ですので、仕事が忙しいわづらわしいといわないでこれからもきちんと受診したいと思っています。



家族の健康づくりはみんな

**特に多い四十・五十代 女性の受診率**  
 昨年実施した村民健康検査の対象者は、二千二百二十九人です。この内の千三百四十四人が受診し、受診率は、六〇・三割となっています。受診率を年齢別に見ますと左下の表のように、年齢が上がるほど受診率が高くなり、男性よりも女性の方が高いことが分かります。特に低いのが男性の四十歳～四十四歳で、百六人の対象者に対し、たった二十七人しか受診していません。この年代は、心身ともに充

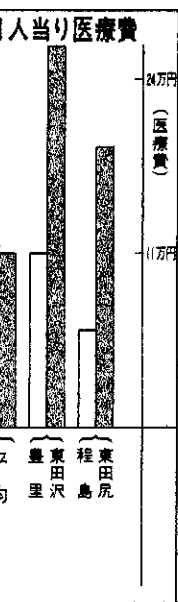
実した時期であり健康に対する認識が薄い現状です。しかし、四十代で脳卒中やガンで倒れるケースもあります。まして、小中学生の中にも高血圧や動脈硬化のある時代ですから、若いからといった油断は禁物です。各種の検診で毎年、胃ガン、子宮ガン、肝臓病、糖尿病などが発見されています。たとえガンでも早期に発見すれば、今の医療技術では、ほとんど治っています。忙しい、わづらわしいといって検診をおこたっては

いられません。万一、一家の大黒柱が倒れたら、その家庭はメチャメチャになります。検診のわずかな時間を惜しむことより、これから先の健康を優先させたいものです。

**検診率が高い地区は、医療費が低い！**  
 昭和六十年度の国保の一人当たりの医療費と村民健康検査の受診率を比べて見ますと右下の表のようになります。対象者が違いますが、受診率の高い地区ほど一人当

りの医療費が低くなっています。村内のある地区では、一人当たりの医療費が二十四万円に達しているところがあります。この原因として考えられることは、若い時から重労働と忙しさにまぎれて健康管理ができなかったのではないかと推測されます。しかし、四十代、五十代の働き盛りに病気で倒

# あなたのおかげで大丈夫です！



**健康づくり懇談会の二案内**  
 ★時間 各会場とも午後八時～午後十時  
 ★7月1日 総合センター(上山)、倉俣集落センター(倉俣)  
 ★7月1日 田中集落センター(田中)、原町公民館(原町、新里)  
 ★7月1日 小原公民館(小原)  
 ★7月1日 重地公民館(重地)  
 ★7月1日 千溝集落センター(千溝)、清田山集落センター(清田山)  
 ★7月1日 荒屋公民館(荒屋)  
 ★7月1日 下山公民館(下山)  
 ★7月1日 通り山公民館(通り山、桔梗原、芋川新田)  
 ★7月1日 新屋敷集落センター(新屋敷)  
 ★7月1日 朴木沢集落センター(高道山、朴木沢、朴木沢新田)、本屋敷集落センター(本屋敷)  
 ★7月1日 白羽毛公民館(白羽毛、程島)、宮中集落センター(宮中)  
 ★7月1日 桂集落センター(桂)  
 ★7月1日 芋川公民館(芋川)  
 ★7月1日 山崎公民館(山崎)  
 田代生活改善センター(田代)

## 都市と田舎の交流へ

# 深めたい新座市との交流

埼玉県新座市との交流は新座市スポーツ少年団部長の児玉さんが、津南町と所沢市の姉妹都市の動きを新聞で知ったことから始まりました。児玉さんは、早速、新座市でお茶屋を営んでいる津南町出身者をたずね、当村を紹介されました。地図で中里村の位置を確かめた児玉さんは、関越自動車道で二時間半と近いことに魅力を感じ、昨秋当村を訪れました。「すばらしい」と児玉さんは大いに中里村を気に入ってくれ、三月三十日に、第一回目のスポーツ少年団同志の交流会が市之越の雪原で行われました。

その後、六月二十日、新座市の総務部長、次長等四人が当村を訪れ、「市民山の家」の候補地として村内の名所、旅館、民宿等を見学しました。つづいて、六月二十三日～四日には、新座市教育長、教育委員会総務課長等四人が訪れ、当村も村長、助役、総務課長等が迎え、話し合いがもたれました。この中には、最初から無理をしたものでなく、永い目で見て、お互いの負担にならないように交流を続けていく方向で意見が一



お茶や飲み物で話し合いが

致しました。会議の後、村内の遊休施設や名所を視察し、利用の少ない体育館やグラウンドを「もったいない、ぜひ、使わせてください」と申し出がありました。新座市との交流は、当面八月三日四日に、少年野球チームが清津峡ホテルに合宿し、地元チームとの交流試合を行なう他、九月二十三日に市民歩け歩け大会を計画しています。

この他に話し合われたこととしては、少年少女合唱団の合宿、市民山の家の開設、産地直売、講師派遣、観光協会の交流などがあります。



遊休施設を視察

**過疎地の活性化に**  
 地域振興策の一環として地域間交流が、昭和五十年代から盛んに行われています。特に最近では、都市と農村との交流が盛んになっています。県内でも十四市町村(S60・4)が姉妹都市の提携を行っており、全国では、四百八十九市町村が姉妹提携をしています。

農村には、都会にない美しく多彩な自然や特産物、伝統文化、温かい人情があります。都会の人たちが農村に来ることによって、観光やレクリエーションの振

興、地元産品の販売等地域経済の活性化をもたらします。また、都会の人たちとの交流は、人々に情報をもたらす良い意味での刺激は地元経済の活性化だけでなく文化、スポーツ等の向上にも結びつきます。また、一番大切なこととして、わたしたちが郷土の良さを再認識することができることです。住んでいるは分らない自然の恵みの素晴らしさに気づき郷土愛が生まれ

**双方にとって プラスの交流に**  
 現在、村ではふるさと中里の会を作り特産物の送付等を行っています。人的な交流ばかりでなく、農家と新座市の消費者団体との産地直送や工場誘致なども考えていく必要があります。こうした交流を成功に導くためには、行政はもとより村民の深い理解と協力がなくてはなりません。スポーツ少年団の来訪の際協力いただいたスポーツ少年団後援会、商工会青年部、体育協会、中里クラブ、猟友会など民間の団体の協力が交流を成功させるカギといえます。

# お知らせ



へみなさんに関係  
あります。見だし  
だけでも目を通し  
てください。



この作品は山田まゆみさんの協力で掲載しています。

お知らせ

## 国民年金で 安心できる老後を!!

いよいよ本年4月1日から、わが国の年金制度が新しい基礎年金という全国民に共通の制度を取り入れ、その上に厚生年金や共済年金を上乗せする二階建ての仕組みとなりました。

老後を豊かに、より充実した生活をおくるために創設された国民年金も制度発足以来、26年目を迎え中里村の国民年金加入者も昭和61年6月末現在で1964人、国民年金を受けている人は福祉年金も含めると、1435人にもなり生活の中に定着してきました。これは村の3.5人に1人が国民年金に加入し60歳以上のお年寄りの90パーセントにあたる人々が国民年金の受給者であるところから国民年金制度の充実が村民福祉向上の重要な柱になると考えられます。年間の年金受給額は、4億7,300万円にもなります。このようなことから、お年寄りにかざらず若い方も将来の生活設計として、国民年金に深いご理解をお願いいたします。

## 清津峡遊歩道の 交通規制のご案内

県観光課では、清津峡遊歩道の安全施設整備を行います。このため、溪谷入口から600mの間が土・日・祝祭日を除き通行止となります。ただし、7月26日までに入口から約200mを完成させ、通行ができるようになります。この整備計画によれば、溪谷入口から600mの間に安全柵が設けられる他、折返し地点に路傍休憩地が整備されま

す。  
★工事期間 6月9日～11月20日  
ご不便をおかけいたしますが、遊歩道の安全を図るためですのでご協力をお願いします。詳しくは開発課まで。

## 運転者講習会のご案内

今年も下記の通り、運転者講習会が開かれますのでみんなで参加し、交通安全に対する自覚を新たにしましょう。

(時間 午後7:30～9:30)

日時	対象地区	会場
7/16(水)	倉俣地区	倉俣生活改善センター
7/21(月)	貝野地区	貝野多目的研修センター
7/24(木)	清津峡地区	高道山小体育館
7/28(月)	田沢地区	総合センター

## 交通事故で重度の 精神神経障害者等に介護料

自動車事故による被害者の保護の増進のため、自動車事故対策センターが政府の出资で設立されています。

その一つとして、自動車事故による頭部または脊髄に損傷を受け、常時介護を必要とする重度後遺障害者を抱える家族の精神的、肉体的、経済的負担の軽減を図るため、介護料を支給しています。

この介護料の支給を受けるためには自力移動が不可能なこと、自力摂食が不可能なことなどの基準がありますので詳しくは、自動車事故対策センター新潟主管支所まで(☎0252-23-2135)

## 信濃川の増水にご注意

本格的な夏を迎え、水による事故が多くなる季節となりました。

国鉄信濃川発電所では、河川における水難事故防止のため、官中取水ダムから小千谷発電所までの信濃川沿岸にダム放流警報用サイレン・スピーカーを設置してあります。ダムから放流するときには警報いたしますので、早めに安全な場所に退避してください。なお、サイレン・スピーカーが聞こえなくても増水してきたら急いで退避するようにお願いします。

次のようなときは増水が早いので十分注意してください。

★台風などによる集中豪雨で河川が増水し、ダムから放流するとき。

★発電所の設備が故障し、調整池(浅河原、山本)の余水路から放流するとき。

子供たちだけの川遊びは非常に危険です。危険な川遊びを見かけたら一声注意して、子供を水の事故から守りましょう。

## 財形住宅融資のご案内

住宅金融公庫では、財形貯蓄(期間3年以上、残高50万円以上)を行っている勤労者を対象に財形住宅融資の借入申込みの受付を行っています。

★受付期間 62年3月25日まで

★融資額 財形貯蓄残高の5倍  
最高2,000万円まで

★利率 全期間年5.38%  
詳しくは、住宅金融公庫取扱い金融期間まで(当村では、中里村農協)

## ご存知ですか 建設業関係の皆さん!!

建設業を営む人々、および建設現場で働く皆さん、国が作った「建設業退職金共済制度」をご存知ですか。

この制度は、昭和39年に中小企業退職金共済法により作られた制度です。

この制度の特色は、一般の退職金のように労働者が事業をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く限り、事業所に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

現在、全国で12万の事業主、162万人の労働者が退職金を受け取り、その額は600億円を超えています。

詳しいことは、下記にお問い合わせください。

★建退共新潟支部(☎0252-22-7101)

## ナイターリーグバレーボール大会 体協主催

★期日 7月下旬

★会場 中里中体育館

★資格 9人制(女子3名以上含む)

★参加費 1チーム 2,000円

★申込み 7月20日まで

池田芳夫(☎63-2521)

高橋芳雄(☎58-3015)

ふるってご参加ください。

## 税務大学の入校案内

★受験資格 昭和41年4月2日～44年4月1日生れ

★申込み 7月9日(水)～7月16日(水)までに、希望する受験地の人事院地方事務局まで申込み用紙等、詳しくは、十日町税務署まで(☎52-3181)

## 新潟県民芸術祭 文芸部門作品の募集

昭和61年度県民芸術祭文芸部門として、みなさんから作品を募集しています。

★種目  
○小説 ○詩 ○短歌  
○俳句 ○川柳

★応募資格  
県内在住者はだれでも応募できます。(小学校、中学校、高等学校の児童、生徒は除く)

★応募締切り  
昭和61年10月9日(水)(消印有効)

★あて先  
〒950 新潟市新光町4の1 新潟県教育庁文化行政課とし、封筒表面に「県民芸術祭文芸作品応募原稿」と朱書する。

くわしいことは、中里村役場総務課行政係まで。

## ポスターコンテストの ご案内

第33回「国際理解、国際協力のためのポスター新潟県コンテスト」の作品を募集しています。

★資格 小・中・高校生・一般(大学生を含む)

詳しくは、役場総務課まで(☎63-2511 ☎13)

お知らせ

お知らせ

お知らせ

お知らせ

## 30年の節目を祝う 身体障害者福祉団体協議会

昭和三十一年四月に結成された、中里村身体障害者福祉団体協議会の創立三十周年記念大会が、六月十九日、総合センターで開かれました。

あいさつに立った渡辺会長は「福祉後進の時代に入り身体障害者にとって困難な時代になってきたが、共に健康に気をつけ福祉の向上に努力しよう」と述べました。その後、功労者表彰、身体障害者と結婚三十年の

体験発表では、山崎の江村さんが、左半身不自由の身ではあるが、常に希望をもって生きる大切さを。白羽毛の樋口さんは、身体障害者は身体に障害があっても心に障害をもつてはいけないことを。山崎の堀井さんは、この会の発足当時の活動資金集めの苦労などを話してくれました。



みんなの力を合わせ福祉の向上を



手話のボランティア活躍

つづいて上村病院院長、上村正子氏が記念講演され、「身体障害者を一病とし、他に異常をきたさないよう健康に留意してほしい。なるべくクサリは飲まずに、食事は腹八分目にするようにし、打ち込める趣味を持ち、目標のある生き方をすること」が大切」と話されました。この大会には、手話のボランティアもかけつけてくれ、温かい雰囲気の中で大会が進められました。

## 村民体育祭 7/27日

★日時 七月二十七日(日)  
午前九時 入場行進

★前夜祭 七月二十六日(土)  
午後八時

★場所 中里中学校グラウンド

★プログラム  
長なわとび、水くみレース、障害物レース、百足レース、つなひき、村民大リレー、小学生トラック競争他

★本祭り  
●ニジマスのつかみどり(午前九時半清津峡小裏)

●盆裁の即売会(清津峡小学校)

●民謡大会(BSN放送)(午後十二時半～三時、清津峡小体育館)

ふるってご参加ください。

## 清津峡まつり 7/26、27日

★出場者帰省大会  
六月十日、出場者帰省大会が、オープンしたばかりの清津峡で行われました。午前中に田中組の総会が行われ、午後から懇親会が開かれました。今でも毎年二百人近い人たちが出陣に出ています。家族と離れ約半年間本場にご苦労様でした。

★田沢小学校建築入札  
六月二十四日、田沢小学校建築の入札が行われました。六億五千八百円で前田建設工業株式会社北陸支店が落札いたしました。この

★清津峡土地改良区創立二十周年記念  
六月二十五日、清津峡土地改良区の設立二十周年記念式典が、総合センターで開かれ、総代をはじめ、約百人が出席しました。この

★工事  
の工事は二年継続で行われ完成は六十二年十月の予定です。現在、田沢小学校生徒は、田沢中学校校舎で授業を行っています。

★清津峡まつり  
七月二十六日、清津峡まつりが、総合センターで開かれ、総代をはじめ、約百人が出席しました。この

★清津峡まつり  
七月二十六日、清津峡まつりが、総合センターで開かれ、総代をはじめ、約百人が出席しました。この

村のあき

## 児童画廊



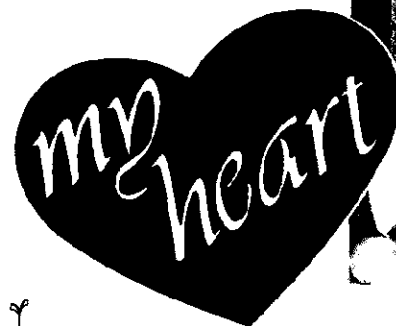
(1年) 南雲 郁美ちゃん

運動会の日、練習のときより、玉がいっぱい入りました。地面に落ちていた玉を一つ一つ一生懸命入れました。玉をぬるのがたいへんでしたが、初めて絵の具を使って書いたのでおもしろかったです。

## わが家の主役



父・鉄夫 東田沢  
母・篤子  
マキちゃん  
マキちゃんねえ、兄ちゃんを見習って服も全部着れるんだ。大人でしょう。お母さんは、女の子だからやさしい娘になってほしいんだって。



## 樋口正勝さん(干溝) 樋口正勝さん(干溝) 樋口正勝さん(干溝)

きつかけは……上村病院の院長さんの紹介です。21歳で十日町ドレメ学院に通っていらしたので結婚をする気なんて無かったんですよ。何せ、同じ親せきがあったりして2人をそっこのけで話しが決ったようなもんです。  
結婚生活は……昨年からは米づくり一本でやっています。忙しいけど、夫婦が一緒に働けることはいいことですね。農業は、はじめてなのでとまどいましたが、やっとこのごろ慣れてきました。  
エピソードを……新婚旅行の宿泊先で、家内がつまずいて目の上をぶったんですよ。次の日、ホテルの人には「どうしました」と聞かれるし大変でした。  
村に要望することは……意欲のある若者に資金面など種々のアドバイスをしてほしい。親子で楽しめるような遊園地がほしいですね。

## かわいい小鳥に感激 親子自然観察会



双眼鏡で確認する参加者たち

## 農業青年協議会の設置へ

六月九日、午前四時半あいにくの小雨の中、親子自然観察会の探鳥会が七ツ釜で行われました。「ピッピッピ」夜が明ければかりの雑木林の中で小鳥たちのさえずりが聞こえます。親子二十四人は、眼目をこすりながら早く可愛らしい小鳥を見つけようと真剣です。しかし、さえずりは聞こえども姿はなかなか見つかりません。今回の講師の十日町博物館友の会、古沢さんと十日町高校の河野先生の指導で無事ホオジロ、シジュウカラ、イカル、カケスなどを確認。「キレイ」「可愛い」と声を発しながら双眼鏡をのぞきこんでいました。七月中旬には、ホテルの観察を計画しています。(公民館)

農業委員会では、農業を営む青年たちの仲間づくりと地域農業の発展を図るため、全村を包括する農業青年グループづくりを進めています。  
五月二十二日に農業青年三十三名が集まり初会合がもたれ、十一人の設立準備委員を選出しました。この設立準備委員会の初会合が、六月二十四日役場で行われました。会の中では、会の名称、会の規約などが検討されました。  
村内には、妻有会、妻有会OB会、青年農業士の会、農協青年部の他、部門別に花卉、タバコ、杉

## 村の今昔

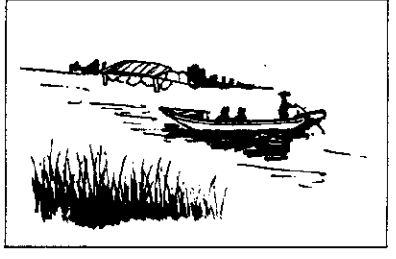
### 宮中橋・宮中



宮中 村山正一さん

国鉄の宮中えん堤ができるまでは、信濃川を渡る交通手段として、宮中のわたしと滝のわたしが重要な役割を果たしていました。宮中のわたしは、上船場、下船場という二軒の家が交替で運行していました。船賃は、貝野地区の人は無料だったように記憶しています。滝のわたしでは、大水の際船が転覆して6人が亡くなるという悲しい事故もありました。  
えん堤の橋は、冬になると除雪ができないため、馬の背中のようになり、吹雪の日や冬の夜はとても恐ろしいものでした。また、夏場も重量制限があったので重い荷を積んだ車は、姿橋回りをした時期もありました。

昭和51年の秋に現在の宮中橋が完成したときは貝野地区を上げて祝ったものでした。もうあれから10年経ちました。



## ちよつとよい自然

### 〈オオバコ〉

「踏みつけて下さい」といわんばかりに生えているこの植物も、よく見るときれいな花をつけています。(花といつても、おしべとめしべが自立だけなのですが)花は、最初に白いめしべが伸び出します。その後、めしべがしぼむと、紫のおしべが伸び出すのです。穂の中では、下の方から順に花が開いて行きます。このため、1本の穂をよく見ると、下から緑(実)紫(おしべ)白(めしべ)緑(つぼみ)という順に色が変化していることに、気づくことができるでしょう。



A-めしべの出た花 B-おしべの出た花

文・大野 滋先生(田沢小)

## 満州で眠る御霊 安らかに



満州に眠る御霊安らかに

六月十五日、満州共栄開拓団の慰霊碑建立一周年記念祭が、東田沢で行われました。午前中は、生きて再び祖国の土を踏むことのできなかつた人々への慰霊法要が行われました。この記念祭には、昨年十月一時帰国している高橋義江さんの姿も見られました。午後からは、カラオケ大会が催され約五十人の人々にぎわいました。

昔などの組織があり活発な活動が展開されています。今回の話し合いの中では、新しく作る組織は、こうした既存の組織の上部団体として位置づけられますが、未組織の青年も加入できるような方向で検討しています。村の農業の将来も厳しい現在、こうした組織づくりの成果に期待がもたれます。



組織づくりに意欲を燃やす若者たち

## 交通事故の情報

- ・飲酒運転検挙者数 3人
- ・無免許運転違反 3人
- ・事故発生件数 6件
- ・死亡事故ゼロ 995日 (6月末累計)

死亡事故ゼロ1000日が達成しました。今後も千五百日、二千日をめざしてみんなで注意し合って交通事故を減らしましょう。  
雨の日の夜間運転は、歩行者が見えにくく大変危険ですから十分注意して運転をしてください。

## 人生 往来

和也(大口修一) 重地	菜月(桑原秀正) 荒屋	浩明(山田正郎) 東田尻	明日香(太島喜一) 芋沢	可南子(羽鳥正平) 本屋敷	隆幸(吉原正巳) 田沢	昌朋(樋口仁) 朴木沢	由里子(服部喜章) 如来寺						
*おめでとう*	板場 芳彦 通り山	樋口 恵子 通り山	廣田 利則 小原	南雲 正子 十日町市	*おめでとう*	柳 光義 83	山本 保昭 9	石澤 吉夫 56	岡村 ナカ 83	山田 正男 25	中島 正 65	村山 トヨ 62	
平和記念の黙とうを	来たる八月六日広島市、	八月九日長崎市で原爆被爆	四十一周年慰霊と平和祈念	の式典が行われます。この	日には、世界恒久平和を祈	って黙とうが行われます。							